

2019年(平成31年)1月21日(月曜日)

読

賣

新

聞

日本酒で日韓交流

輸入業者ら 飛驒の酒造店訪問

韓国の日本酒輸入業者や

居酒屋経営者らが20日、日

本酒の輸出を手がけている

飛驒市古川町壺之町の渡辺

酒造店(渡辺久憲社長)を

商談を兼ねて訪れた。韓国

海軍による自衛隊機へのレ

ーダー照射や徴用工問題な

どで日韓関係が冷え込む

中、同店は「日本食文化の

一つである日本酒を通し

て、日韓の交流や友好を深

めたい」としている。

同店が韓国へ輸出する日

本酒の量は増え続けてお

り、昨年は720リ・び・びサ

イズで約4000本と、2

016年の2倍に達してい

るといふ。韓国から同店を

訪れた15人は、渡辺隆専務

(44)らに酒蔵に案内され、

杜氏の説明を聞きながら酒

米の香りや味を確かめた。

その後、搾りたての酒で乾

杯。試飲した業者らは、おい

しいと笑顔を見せていた。

渡辺専務は「来てくれた

人たちは日本の文化や日本

食が好きで、おしゃべりと

考えている。日本酒を通し

た日韓交流は次世代につな



搾りたての酒で乾杯する韓国の業者ら

いでいきたい」と話す。

日本酒輸入業者の金在旭

さん(47)は「日本酒は香り

や味がまろやかで、韓国で

は30〜40歳代に好まれてい

ます」と説明。最近では日韓

関係の悪化が指摘されてい

るが、「若い人たちは日本

に来ており、文化交流や民

間レベルの交流は深まると

思います」と話していた。